

平成23年5月10日

各 位

株 式 会 社 関 門 海
代表取締役会長CEO兼社長COO
谷 間 真
(コード番号：3372 東証マザーズ)
問合せ先 取締役・経営支援部長
原 真理
電 話 番 号 06-6578-0029 (代表)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年5月10日開催の取締役会におきまして、東日本大震災の影響及び最近の業績動向を踏まえた経営方針の見直しを行い、平成23年1月12日に公表いたしました中期経営計画を廃止し、また、当期におきましては、特別損失を計上するとともに、平成23年1月14日に公表いたしました平成23年11月期（平成22年12月1日～平成23年11月30日）の業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社グループは、当社運営店舗15店舗の閉鎖を決定したことによる店舗閉鎖損失101百万円、連結子会社である株式会社富士水産ののれんに関する一時償却費51百万円、関係会社貸付金に対する貸倒引当金繰入額30百万円を特別損失に計上いたします。

また、個別業績におきましては、上記、店舗閉鎖損失、関係会社貸付金に対する貸倒引当金繰入額に加えて、連結子会社である株式会社富士水産及び株式会社だいもんへの貸付金に対する貸倒引当金繰入額354百万円を特別損失に計上いたします。

2. 業績予想の修正について

(1) 第2四半期連結累計期間業績予想の修正

(平成22年12月1日～平成23年5月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益	1株当たり 連結四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,200	百万円 450	百万円 430	百万円 150	円 銭 2,512.56
今回実績(B)	4,430	270	235	△40	△669.98
増減額(B-A)	△770	△180	△195	△190	—
増減率(%)	△14.8	△40.0	△45.3	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年11月期第2四半期)	5,432	466	434	124	2,093.05

(2) 通期連結業績予想の修正

(平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,000	百万円 345	百万円 300	百万円 60	円 銭 1,005.03
今回修正予想(B)	7,500	△65	△140	△520	△8,708.51
増減額(B-A)	△2,500	△410	△440	△580	—
増減率(%)	△25.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 11 月期)	9,038	△46	△118	△890	△14,921.90

(3) 通期個別業績予想の修正

(平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,800	百万円 250	百万円 275	百万円 55	円 銭 921.27
今回修正予想(B)	5,050	△80	△40	△630	△10,550.69
増減額(B-A)	△1,750	△330	△315	△685	—
増減率(%)	△25.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 11 月期)	5,365	79	126	△588	△9,861.72

(4) 業績予想の修正理由

当社グループは、平成 23 年 1 月 12 日に公表いたしました「中期経営計画」に基づき事業推進に取り組んでまいりましたが、東日本大震災による影響及び最近の業績動向を踏まえ、①「玄品ふぐ」事業への本業回帰、②子会社整理、③不採算店舗の閉鎖、④本部機能の縮小、⑤資産の売却・整理、⑥新規事業・新規投資の凍結、を基本方針とした経営計画の抜本の見直しを行っております。従いまして、当連結会計年度における業績予想の修正は、東日本大震災などの影響、総菜宅配事業の見込修正、経営計画の見直しによる修正を主な理由としております。

① 第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正理由

売上高は前回業績予想 5,200 百万円に対して 770 百万円減の 4,430 百万円となり、利益につきましては、営業利益は前回業績予想 450 百万円に対して 180 百万円減の 270 百万円、経常利益は前回業績予想 430 百万円に対して 195 百万円減の 235 百万円となる見通しであります。

修正理由といたしましては、東日本大震災及びその後の原発不安などが業績に与える影響として売上高の減少 400 百万円、営業利益の減少 200 百万円、総菜宅配事業の見込修正として売上高の減少 200 百万円、営業利益の減少 40 百万円を見込んでおります。また、経営計画の見直しによる修正といたしましては、凍鮮魚、海外戦略事業等の凍結による売上高の減少 170 百万円、営業利益の減少 10 百万円、本部機能の縮小等によるコストダウンによる営業利益の増加 70 百万円等を見込んでおります。

また、上記記載のとおり、店舗閉鎖損失、のれん一時償却費、貸倒引当金繰入額等の特別損失を計上するため、当期純損失 40 百万円（前回業績予想は当期純利益 150 百万円）となる見通しであります。

② 通期連結業績予想の修正理由

売上高は前回業績予想 10,000 百万円に対して 2,500 百万円減の 7,500 百万円となり、利益につきましては、営業利益は前回業績予想 345 百万円に対して 410 百万円減の営業損失 65 百万円、経常利益は前回業績予想 300 百万円に対して 440 百万円減の経常損失 140 百万円となる見通しであります。

修正理由といたしましては、東日本大震災及び店舗閉鎖などが業績に与える影響として売上高の減少 1,100 百万円、営業利益の減少 350 百万円、総菜宅配事業の見込修正として売上高の減少 500 百万円、営業利益の減少 120 百万円を見込んでおります。また、経営計画の見直しによる修正といたしましては、凍鮮魚、海外戦略事業等の凍結による売上高の減少 890 百万円、営業利益の減少 80 百万円、本部機能の縮小等によるコストダウンによる営業利益の増加 140 百万円等を見込んでおります。

また、上記記載のとおり、店舗閉鎖損失、のれん一時償却費、貸倒引当金繰入額等の特別損失を計上するため、当期純損失 520 百万円（前回業績予想は当期純利益 60 百万円）となる見通しであります。

③ 通期個別業績予想の修正理由

売上高は前回業績予想 6,800 百万円に対して 1,750 百万円減の 5,050 百万円となり、利益につきましては、営業利益は前回業績予想 250 百万円に対して 330 百万円減の営業損失 80 百万円、経常利益は前回業績予想 275 百万円に対して 315 百万円減の経常損失 40 百万円となる見通しであります。

修正理由といたしましては、東日本大震災及び店舗閉鎖などが業績に与える影響として売上高の減少 850 百万円、営業利益の減少 330 百万円、また、経営計画の見直しによる修正といたしましては、凍鮮魚、海外戦略事業等の凍結による売上高の減少 890 百万円、営業利益の減少 80 百万円、本部機能の縮小等によるコストダウンによる営業利益の増加 80 百万円等を見込んでおります。

また、上記記載のとおり、店舗閉鎖損失、貸倒引当金繰入額等の特別損失を計上するため、当期純損失 630 百万円（前回予想は当期純利益 55 百万円）となる見通しであります。

以上